

経営比較分析表（令和6年度決算）

山形県 東根市

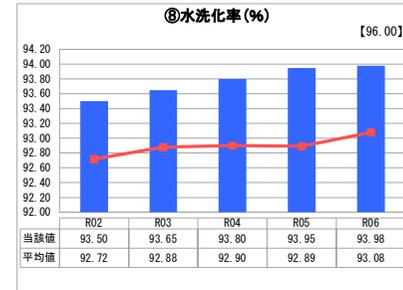
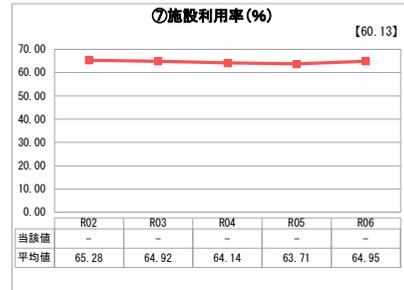
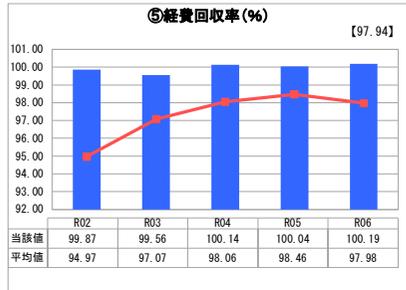
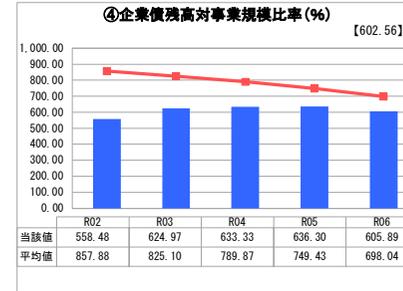
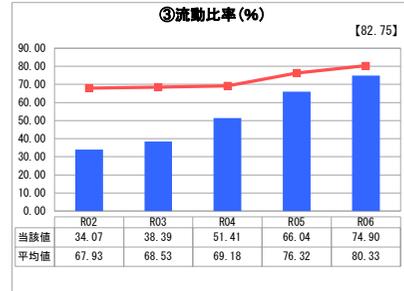
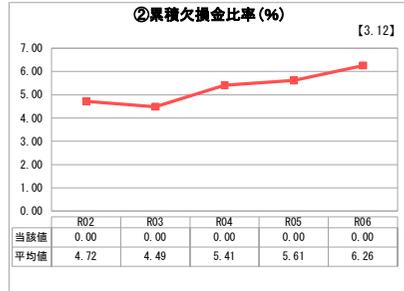
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	65.29	92.63	80.09	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
47,631	206.94	230.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
43,995	17.21	2,556.36

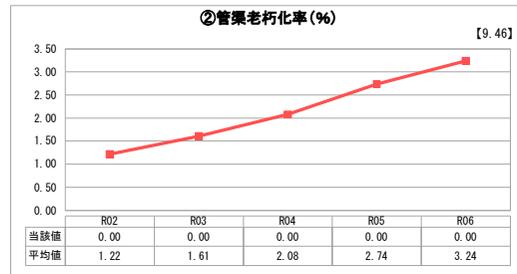
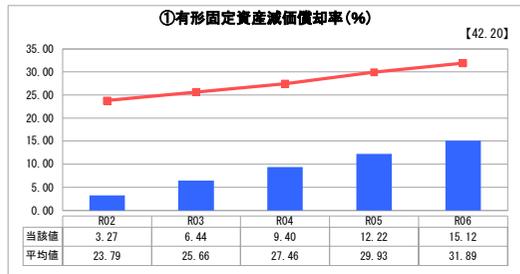
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

下水道事業は、経常収支比率①、経費回収率とともに100%を超えており、下水道使用料によって維持管理費等の費用が賄われていますが、類似団体平均値よりも低い数値であることから、引き続き、経費削減を図り、財源の確保に努めていきます。短期債務に対する支払能力を表す流動比率③については100%未満ですが、流動負債には建設改良費等に充てられた企業債等が含まれており、償還の原資は使用料収入を見込んでいます。今後は企業債等に頼らず流動性の確保に努め、支払能力を上げる経営を行ってまいります。企業債残高の規模を表す企業債残高対事業規模比率④は、類似団体平均と比較して低い水準にあり、引き続き償還財源の確保に努めます。汚水処理原価⑥は、有収水量が増加傾向にあるものの、前年度比0.29円増の173.71円となっています。今後、維持管理費の削減、有収水量の増加を図ることで汚水処理原価を減少に努めます。水洗化率⑧は、類似団体平均値より上回っていますが、安定した使用料収入を図るため、今後も継続的に普及啓発等による水洗化率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率①は、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示すもので、前年度比2.90ポイント増となっております。本市では昭和62年に供用開始しており、法定耐用年数を超えた管渠は無く、改善を行った管渠も少ないことから、管渠老朽化率②及び管渠改善率③は0%となっております。しかし、供用開始から30年を迎えることから、平成26年度より管渠の改修工事（長寿命化工事）に着手しています。また、今後、管渠更新に本格的にシフトしていくことを見据え、令和元年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、老朽化した施設の改築・更新を行っております。

全体総括

経常収支比率、経費回収率が100%を超えており、累積欠損金も無く、経営の健全性・効率性の点からは十分運営できている状況です。今後は、更なる流動比率や水洗化率の向上のため、安定した使用料収入がもたられますが、将来の人口減少に伴い使用料収入が減少していくことが想定され、加えて管渠の老朽化も進んでいきます。このため、長期的な視点に立った施設の維持管理や更新等に取り組み、経営基盤の強化を図っていく必要があります。本市は、令和2年度から地方公営企業法の適用を行い、同年度に「東根市公共下水道事業経営戦略」を策定しました。毎年度進捗管理を実施するとともに、PDCAサイクルにより検証を行い、令和7年度中の計画見直しを進めています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。